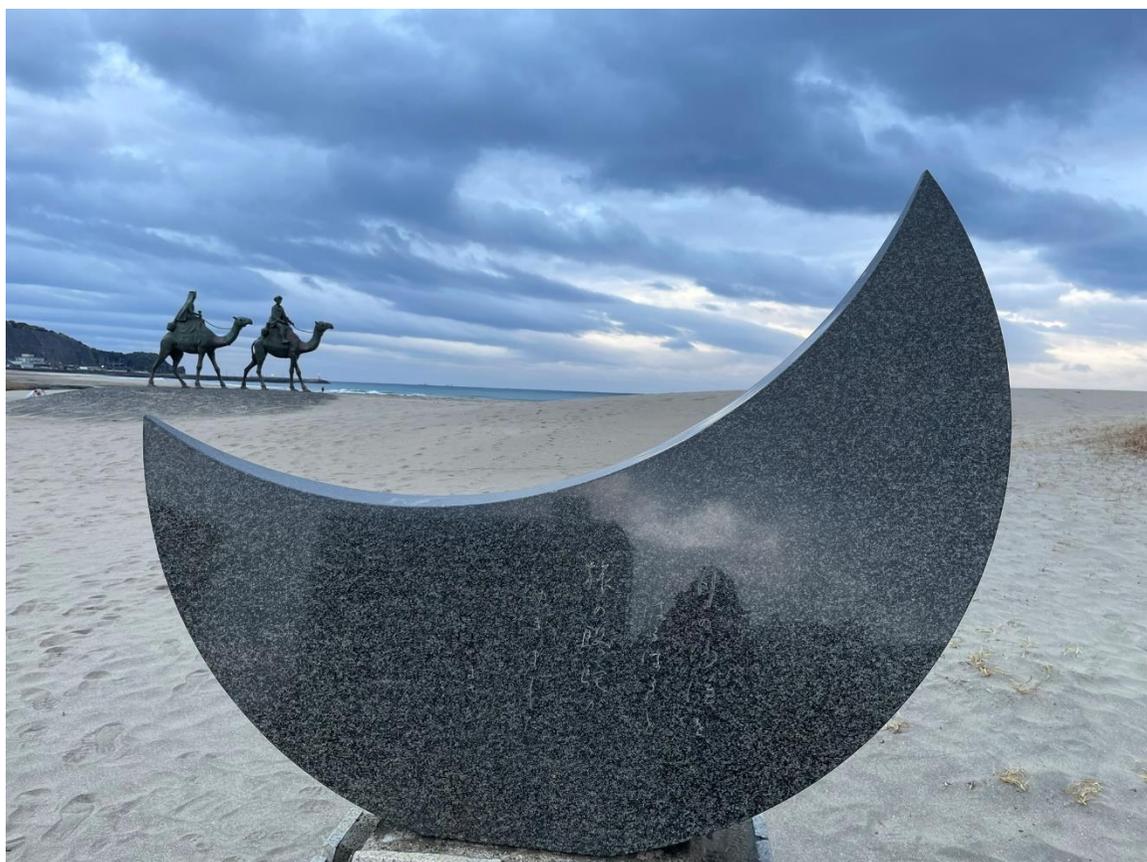


多賀工業会千葉県支部会報

茨城大学工学部

63号



(御宿海岸の砂丘 「月の沙漠」)

多賀工業会千葉県支部

令和7年4月16日発行

お知らせ

千葉県支部では来年令和8年2月に創立70周年を迎えます。
これを記念した行事を企画検討しておりますので、どうぞご期待ください。

目次（令和7年度の行事予定）

挨拶	会報 63 号の発刊に寄せて	3 頁	支部長 富田 宣吉
報告	WEBアンケート実施結果	4 頁	副支部長 坂田 昭夫
総会案内	令和7年度第52回総会・開催案内	6 頁	幹事長 高崎 芳紘
	総会：令和7年5月13日（火）（於）山崎製パン企業年金基金会館		
総会資料	議案書	7 頁	幹事長 高崎 芳紘
	決算報告・予算案	8 頁	会計幹事 菅谷 好美
総会報告	令和6年度第51回総会報告	9 頁	幹事長 高崎 芳紘
寄稿	会員レポート（今は地域の仲間と活動中）	11 頁	宮内 賢一
	会員レポート（なつかしい学生時代と今）	13 頁	市村 幸夫
	新規ポリマー開発の経緯について	15 頁	岡部 憲昭
	坊さんになりました	17 頁	岩瀬 幸男
	サラリーマン時代の思い出	19 頁	石橋 英男
	日本の絵師達の歩み（その6）	23 頁	佐藤 隆義
囲碁	囲碁会の活動報告と今後の予定	25 頁	囲碁会・会長 佐藤隆義
	第95回 4月22日（火）会場 船橋中央公民館		
	第96回 7月22日（火）	同上	
	第97回 10月21日（火）	同上	
	第98回 令和8年1月20日（火）	同上	
ゴルフ	ゴルフ会の活動報告	26 頁	ゴルフ会・会長 細井常雄
会費納入者	令和6年度会費納入者、寄付金協力者	27 頁	会計幹事 菅谷 好美
役員一覧表	支部役員・役割一覧表	28 頁	広報 金坂 潤

この会報誌に対するアンケートにご協力ください。

右のQRコードをスマホで読み取っていただくと、アンケートサイトが開きます。

読み取りが難しい場合は、下記までメールください。

saka2.gg@gmail.com（アンケート担当 坂田）

折り返し、URLを返信いたします。ご協力よろしくおねがいたします。



支部会報63号の発刊に寄せて

支部長 富田 宣吉（昭37学化）

今年の目標は千葉県支部の若返り化に注力したいと考えています。

その具体策として

1. 多賀工業会本部、他支部との連携強化
2. 年会費納入者への呼びかけ促進
3. 幹事の若返りを図る



幹事の若返りについては、一昨年及び今年入会された方々の実務移行への促進を図ります。

年会費の納入者増加については、支部活動の内容がわかるような資料を整えて皆様にご提示し、ご協力を呼びかけます。特にかつて納入された方々へ呼びかけます。物価高の折からではありますが、千葉県支部の皆様にはご理解頂けるものと確信しております。

また予算の使い方については、会報の作成費低減をはじめ各種支出について節減に努めて参ります。

更に若手や女性の意見、要望などを把握するため、小規模な懇談会の開催を進めて参ります。

多賀工業会としては諸先輩の高齢化が進む一方で若手への呼びかけも重要な課題と考えています。

一方、本部との連携も重要な課題と考えます。本部の意向及び他支部の動向に注目して参りたいと考えています。特に他支部の動向で参考出来る事については、千葉県支部も取り入れて参りたいと考えています。

以上

★WEB アンケート実施結果(会報誌や会員の声収集)

支部活性化チーム活動

昨年、発足した「支部活性化チーム」の活動第一弾として、WEB アンケートを実施いたしました。簡単に報告します。

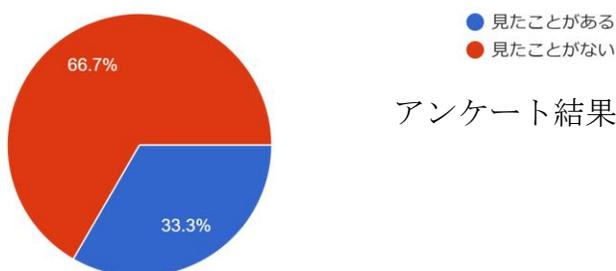
●アンケート実施概要

1. 目的 : 会報誌や支部の活動、会員の暮らしの声を収集する
2. 方法 : はがきに印刷してあるQRコード(2次元バーコード)を読み取っていただき、WEB型アンケートに参加していただく
3. 実施時期 : 2024年9月25日投函(25名)
4. 対象者 : 75歳以下の2024年6月末までの会費納入者
5. 回答 : 2024年9月28日～10月20日
6. 回答率 : 48%(12名)

●支部会HP閲覧率は3人に2人

支部会活動や過去の会報誌はHPから閲覧が可能です。
また、お問い合わせも受け付けています。

質問 : 千葉県支部ホームページを見たことがありますか？



アンケート結果から抜粋

●会報誌記事は、「会員の暮らし方紹介」を期待する声が多い

今回は、定年後、他の会員のみなさんが、会社とは違う働き方やどんな暮らしをしているのかを知りたいという声が多く見られました。

昔の会社員時代を懐かしむ声もありつつ、これからの新しい人生計画の参考にしたいという方々が多いようです。

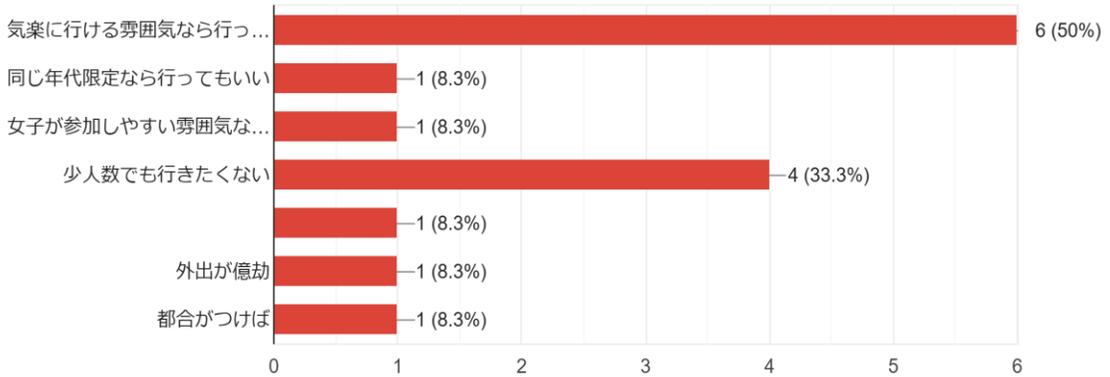
ぜひ、これからもご自身の暮らしぶりのご紹介等ご協力をお願いいたします。

●今後、少人数のプチ懇親会を企画していますが、色々なご意見を頂きました

「総会」のような形式にとらわれない「少人数の懇親会」であれば、見識を広げたり、新しい出会いが期待されるというご意見もいただきました。

少人数のプチ懇親会について（複数回答可能）

12件の回答

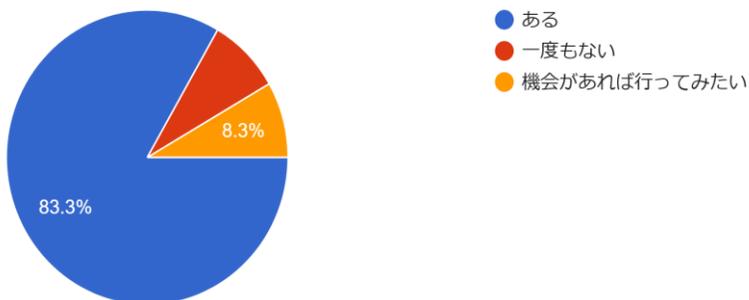


●なつかしい日立キャンパスへも 80%以上の方が訪問されていました

卒業すると、なかなか行く機会がないと思っていましたが、意外にもほとんどの方が、訪問されていました。やはり思い出のキャンパスですね。

卒業後、日立キャンパスへ行ったことはありますか

12件の回答



◆今回は、「支部活性化チーム」として、アンケートを実施いたしました。ご協力いただきありがとうございます。今後も「プチ懇親会」や「第二弾アンケート」など実施してまいります。

みなさんのご意見もお聞かせください。お待ちしております。

支部活性化チーム 窓口 坂田 (saka2. gg@gmail.com)

令和7年度第52回千葉県支部総会の開催案内

幹事長 高崎芳紘（昭39学電）

- 開催日時 令和7年5月13日（火）13時から17時
- 会場 山崎製パン企業年金基金会館 5階 A会議室
住所：〒272-0034 市川市市川 1-3-14
電話：047-321-3600
JR 総武線 市川駅下車（北口） 徒歩3分
- 会費 10,000円
- スケジュール (1) 受付 12時30分から13時
(2) 総会 13時から14時30分（写真撮影含む）
(3) 懇親会 14時45分から16時15分（4階「春光」にて）

千葉県支部は、一昨年4名の新幹事の登用、今年1名の新幹事登用で、若手幹事が中心となりつつあります。支部の運営、会員拡大の取り組み、会報編集などに力を発揮してもらっています。生まれ変わる千葉県支部、元気印の千葉県支部にご期待ください。

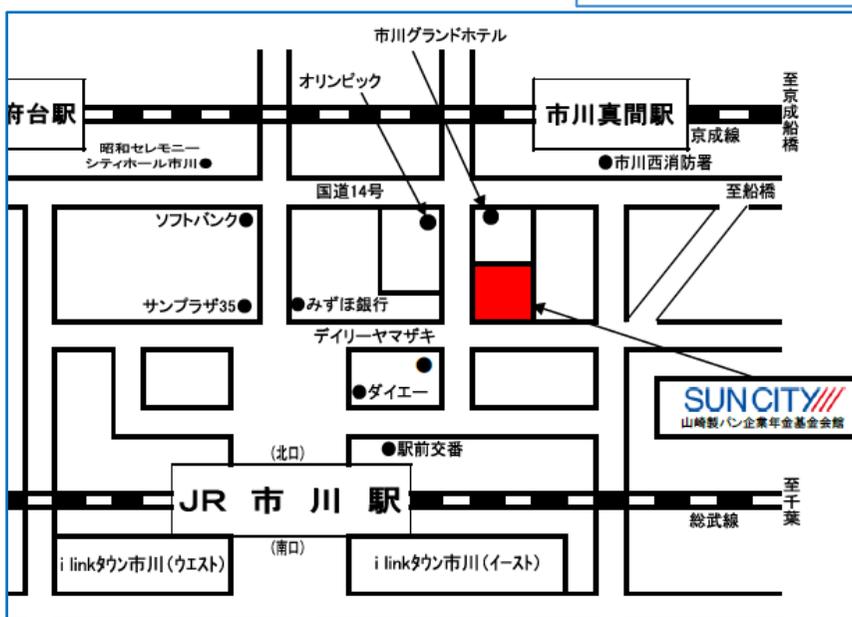
同封のハガキにて総会参加の可否をご返事ください。振込用紙を同封していますので、年会費2000円の納入何卒ご協力のほどよろしくお願い致します。

連絡先 住所 〒277-0016 千葉県柏市八幡町3-71 高崎芳紘

電話：0471-63-2486 携帯：090-2426-9781

Eメールアドレス：pat.taka@ceres.ocn.ne.jp

案内図 SUNCITY ///
山崎製パン企業年金基金会館



第52回 千葉県支部総会資料（議案書）

第1号議案 令和6年度事業報告（令和6年3月1日～令和7年2月28日）

- (1) 第51回総会：令和6年5月18日（土）船橋市中央公民館（第一集会室）
- (2) 本部理事会：令和6年6月30日（日）
- (3) 幹事会：令和6年3月13日（水）船橋市中央公民館で開催（以下同）
4月10日（水）、4月23日（水）（臨時）、9月18日（水）、
11月20日（水）、令和7年1月29日（水）（臨時）、2月19日（水）
- (4) 新年会：中止
- (5) 支部交流：埼玉支部総会（4月13日開催）に高崎幹事長が出席、
東京支部総会（6月15日開催）に富田支部長が出席
- (6) 事業報告：(イ) 囲碁同好会：7月23日（火）、10月22日（火）、
1月21日（火）に囲碁大会を開催
(ロ) ゴルフ同好会：3支部対抗ゴルフ大会を開催

第2号議案 令和6年度決算報告及び会計監査報告 承認依頼の件

第3号議案 令和7年度事業計画案（令和7年3月1日～令和8年2月28日）

- (1) 第52回総会：令和7年5月13日（火）市川市山崎製パン企業年金基金
会館で開催予定
- (2) 本部理事会：令和7年6月29日（日）予定
- (3) 幹事会：令和7年3月、4月、6月、9月、11月、12月（臨時）、
令和8年2月予定
- (4) 新年会：令和8年1月予定
- (5) 他支部間との交流：今年度と同様の交流を実施予定
- (6) 事業活動：囲碁同好会及びゴルフ同好会を継続する。

第4号議案 令和7年度予算案の承認依頼の件

第5号議案 支部役員の交代

第6号議案 支部会則の改正

第7号議案 その他

資料－Ⅰ 令和6年度決算及び会計監査（令和6年3月1日～令和7年2月28日）

収入の部（円）				支出の部（円）			
科目	予算	実績	備考	科目	予算	実績	備考
総会費収入	100,000	110,000	総会出席：20名	総会費	100,000	96,300	
新年会費	50,000	0		新年会費	50,000	0	
本部助成金	51,300	51,300		会報製作費	100,000	102,710	会報68頁、300冊 (運送費を含む)
年会費収入	120,000	116,303	65名分	会報送料	31,000	59,190	186通分の郵送費 (ヤマトからの切替)
雑収入	0	40,000	支部長 会報購入分	同好会補助費	20,000	8,300	ゴルフ 8,300円 囲碁(10,000円返金)
寄付金	30,000	73,000	寄付金協力者： 27頁参照	会議費	40,000	78,439	幹事会開催(9回)
				支部交流費	35,000	20,000	東京支部 埼玉支部
				活性化活動費	50,000	39,698	増員推進
				事務雑費	50,000	29,440	近況報告葉書作成等
収入合計	351,300	390,603		支出合計	476,000	434,077	
前年度繰越金	234,252	234,252		予備費	109,552	190,778	
合計	585,552	624,855		合計	585,552	624,855	

令和7年3月1日 監査の結果、誤りのないことを認めます。

監事 高橋 孝雄 印
監事 綿引 貞男 印

資料－Ⅱ 令和7年度予算（案）令和7年3月1日～令和8年2月28日

収入の部（円）				支出の部（円）			
科目	前年実績	予算	備考	科目	前年実績	予算	備考
総会費収入	110,000	200,000	10,000円×20名	総会費	96,300	200,000	
新年会費	0	50,000	3,000円×16名	新年会費	0	50,000	
本部助成金	51,300	51,300		会報製作費	102,710	50,000	会報28頁、200冊
年会費収入	116,303	130,000	70名分	会報送料	59,190	40,000	郵送(180円×200通)
雑収入	40,000	0		同好会補助費	8,300	10,000	ゴルフ
寄付金	73,000	30,000		会議費	78,439	70,000	幹事会開催(7回)
				支部交流費	20,000	20,000	東京支部 埼玉支部
				活性化活動費	39,698	50,000	小規模懇談会開催等 増員推進
				事務雑費	29,440	30,000	
収入合計	390,603	461,300		支出合計	434,077	520,000	
前年度繰越金	234,252	190,778		予備費	190,778	132,078	
合計	624,855	652,078		合計	624,855	652,078	

令和6年度第51回多賀工業会千葉県支部総会報告

幹事長 高崎芳紘（昭39学電）

1 概要

令和6年度第51回多賀工業会千葉県支部総会は令和6年5月18日（土）の午後1時00分～2時20分「船橋市中央公民館（第一集会室）」にて開催しました。今回の総会は、新型コロナウイルスが感染症5類に移行となった後での初開催となり、本部、各支部からの来賓3名及び支部会員17名が出席しました。

坂田幹事（昭54学精）の司会により議事は進行し、富田支部長（昭37学化）が開会の挨拶をしました。来賓としての多賀工業会本部の会長である杉田龍二様よりお祝いのご挨拶をいただきました。

この後、細井幹事（昭48学金）が議長に選出され、各議案が審議されました。用意された議案は原案どおり全て承認されました。

司会の坂田幹事の挨拶により閉会し、参加者全員の写真撮影が行われ当会場で行事は終了しました。この後、別会場にて懇親会を開催しました。

なお、来賓の方々は下記の通りです。

杉田龍二 本部長（昭49学子）

小林 一 東京支部副支部長（昭38学機）

岡部憲昭 埼玉支部副支部長（昭44学化）

2 総会：議長の細井幹事により、下記の議案を審議しました。

〈議案〉

- (1) 第1議案：令和5年度事業報告
- (2) 第2議案：令和5年度決算報告と会計監査報告
- (3) 第3議案：令和6年度事業計画案
- (4) 第4議案：令和6年度予算案
- (5) 第5議案：役員人事についての報告事項
- (6) 第6議案：その他（発言なし）

以上、全議案は提案通り承認されました。

この後、囲碁会長の佐藤副支部長（昭40学化）から囲碁同好会の活動報告がありました。

【 富田支部長の開会挨拶 】（概要）

支部の役員に新しい幹事が4名加わりました。人員不足には苦勞していますが、支部活動を活性化していくために頑張ろうと思っています。

また、若手の会員を増やすため、OBの皆さんの業績を集めた冊子を作り、卒

業生や学生に配りたいと思っています。

【 来賓挨拶：来賓を代表して杉田会長からご挨拶をいただきました 】(概要)

社会は技術の進歩により大きく変化しています。技術者は技術の流れに乗ることや新しい技術の流れを作ることが重要です。

茨城大学と工学部も改革を進め、今年度、文理横断型の地域未来共創学環が水戸キャンパスに開設されました。工学部では、データサイエンスやジェネレーティブAIに対応できる卒業生を増やすべく、情報工学科と情報工学専攻の学生数を増やしつつあります。今年度、情報工学専攻の入学者定員は30名から70名に増員されました。

組織を活性化し活性化するためには若者の参加が必須です。この課題を解決すべく、SNS等を使い、多賀工業会をアピールし工業会の知名度アップと若手会員支援に力を入れています。昨年度から、週一回ペースで学生とのミーティングも実施しています。SNSについては、多賀工業会の公式XやInstagramを利用して種々の情報を投稿しています。若手会員を増やすため、今年度から若手会員が支部総会に初めて参加する際の参加費を支援することにしました。

<令和6年度第51回多賀工業会千葉県支部総会集合写真>



★会員レポート(今は地域の仲間と活動中)

時代を作ってきた先輩たち

今回のレポートは、会社を卒業した後は、地域の方々と音楽活動を楽しみながら、ボランティア活動に積極的な先輩のお話です。



宮内 賢一さん(昭49学金)

企業戦士として、働いた後は、自宅で趣味やボランティア活動をしていらっしゃいます。

●長かった単身赴任も経験し、今は地元で音楽活動中

●「きれいな街並みの住宅地にお住まいですね」

ちょうどバブル期に開発された住宅地で、購入した当時は、隣近所は、同世代で、働き盛り。

今では皆さん、子供達も独立し、老夫婦ばかりの街になってしまいました。

●「毎日が痛勤電車の企業戦士の時代ですね」

ところが、すぐに転勤で、思いがけず単身赴任が25年も続いてしまいました。

5～6拠点に単身赴任でしたが、痛勤電車には、ほとんど乗らずにすみしました。

たまに帰ってきても、近所の方々との交流もそこそこで、戻りますので、「地元」という認識が薄かったですね。

●「音楽活動というのは、どんなきっかけだったのですか」

住民たちも高齢化が進み、住民同士の交流や活性化が課題となってきて、その中で「音楽会をやろう」と自治会回覧で参加者を募ったのがきっかけでした。

私も中学・高校の吹奏楽部で金管楽器を吹いており、ピアノの方、フルート、オカリナ、ボーカルなど、現在は12名で、セッションを楽しんでいます。

●「金属工学科で金管楽器は偶然」

私の楽器はユーフォニアム、あまり聞きなれない楽器ですが、京都アニメーションが制作した「響けユーフォニアム」のアニメで多少は知られるようになりました。

オーケストラではめったに使われませんが、吹奏楽で使われる金管楽器です。

音楽会は2部構成で、最初は演奏を約1時間、そのあと参加者による合唱1時間で計2時間、月1回行っています。ほかに団地の夏祭りにも演奏で参加しています。

●企業とは違ったボランティア活動中

●「バブル時代の働き詰めの企業戦士とボランティア活動は正反対ですが」あの時代は、「利益追求・売上至上主義」の時代でした。

たまに、赴任先から自宅に帰ってきても、のんびりする時間もなく、地域とのコミュニケーションが希薄になっていくのが、気になっていました。

そんなこともあり、「定年後は、再雇用などお金のために働くよりも地域活動をしよう」と考えるようになり、現在は、民生委員の活動や自治会活動のお手伝いもしています。



白バイと記念写真

先日は、民生委員研修会で警視庁に行きました。

白バイに乗っての記念写真では、テンションあがりました。

●「お仕事と専門学科との関係は」

私の専門は「金属工学科」です。今は、「マテリアル工学科」とかっこよくなりましたね。

会社では、金属の溶解、鋳造、圧延、塑性加工の技術スタッフとして長く担当していました。大学での実習や授業で得た基礎や知識、そして経験は大いに役立ちました。

「ものづくりの基本」は、仕事や考え方にも大切ですね。

●「金属工学科を選んだ理由は」

高校時代に進路を決める際、宇宙技術や原子力などの先端技術や身の回りの物質など金属材料が多くあり、将来に 明るさを感じて、金属工学科を選びました。

●楽しいときは、どんなときですか

●「ソロパートもいいけど、みんなで合奏が一番」

下手な演奏でも皆さんの前で演奏し、聴いてもらえること。一つの曲を皆で合奏しているときなどは楽しいひとときです。

◆今回は、メーカーへ就職し、定年後、地域の皆さんと楽器演奏したり、自治会ボランティアでお忙しい毎日をすごしていらっしゃる先輩の暮らしを紹介しました。

今回のレポートは、20キロ歩いて体を鍛えながら、駅ピアノにあこがれる先輩のお話です。



市村 幸夫さん(昭54学情)

大学では、プログラミングに初めて出会い、定年後は、ピアノ演奏に挑戦中の先輩の紹介です。

●工学部の思い出はプログラミング

●「情報工学科を選んだ理由をお聞かせください。」

情報工学を学んだ理由はとてもシンプルです。

自宅から通えることと、コンピュータに興味があったから。

大学に入って初めてプログラミングに触れましたが、本当に楽しかったです。文字や数字を入力して結果が返ってくる。そのプロセスが面白くてたまらなかったですね。学生時代については「普通の学生だった」と自分では、思いますが、初めてのプログラミングの学びの感動が、その後のキャリアの土台やピアノという新しい挑戦になったのは間違いありません。

●「当時はコンピュータ創世記ですね。」

HITAC でプログラミングをしていました。

仕事はずっと SE 系でしたが、「情報工学科」での学びが役にたちました。

●四国遍路とピアノに導かれて

●「ピアノとの出会いは」

きっかけはNHKの『駅ピアノ』でした。

定年退職後、何気なく観ていたテレビ番組で、人々が駅に置かれたピアノを自由に弾く様子を見て、感動しました。

ある時、退職したエンジニアの方が歌謡曲を弾いているのを観たんです。その方は定年



YouTube からの画像

後にピアノを始めたと話していました。

それを聞いて、自分にもできるのではないかと思ったんです。

幸運にも、自宅には娘が使っていたピアノがあったので、譜面を開き、鍵盤に向かう日々が始まりました。

独学なので上手とは言えませんが、音が出るとそれだけで楽しいんです。

いくつになっても、新しいことに挑戦する若い心は大切ですね。

● 「運動はされていますか」

定年後は身体を動かすことにも力を入れています。かつてはランニングを楽しんでいましたが、膝を痛めてからはバイク（自転車）に転向しました。

旧街道を歩くのが好きだったので、最近は、四国遍路に挑戦するために歩くことを中心に据えています。

一昨年、徳島を回り終えたところです。次は高知を一度で回りたいので、週末には20キロほど歩いています。

四国一周という壮大な目標について、「元気なうちにやりたいんです」

何事も「そのうちに」ではなく、「やりたいとき」にやりましょう。

● 「これからの計画は」

振り返っても定年後に特別な計画はありませんでした。しかし、テレビ番組でのピアノとの出会い、そしてふと始めた四国遍路への挑戦が、私の人生に新しい風景をもたらしてくれました。

未来は計画しすぎない方が面白いのかもしれない。

これからもピアノを弾き、四国の道を歩き続けたいと思います。

「その姿は、自分らしい暮らしを見つけた人の穏やかで力強い生き方そのものでした。」

◆今回は、「情報工学科」でプログラミングに出会い、定年退職後は、ピアノと出会ったという、どちらもキーボードつながりの先輩のお話を伺いました。

どこかの駅ピアノで演奏されている姿を見かけるかもしれませんね。

新規ポリマー開発の経緯について（後編）

岡部憲昭（昭44学化）

P TMGと硫酸水を混合後に静置するとポリマー層と硫酸水層に分離するが、P TMGの低分子成分から硫酸水層に移行し、これが硫酸濃度に比例するという現象を見出したのである。温度管理ミスで起きた収率低下の原因を熟考した結果であった。ポリマー層には分布の狭いP TMGが残っていたのである。早速、特許を出願したが、タイミングが良く大手顧客から分布の狭いP TMG：年間数百トンの引き合いがきた。幸運としか言いようがなかった。試作品を提供すると樹脂性能が良く、採用決定の知らせがきた。これを皮切りに顧客の事業は拡大、自動車部材や重建機用油圧ホース、各種制振材などへこの樹脂の用途が拡大することになる。テーマ廃止や転勤等の困難を乗り越え、諦めなかった結果である。

プロジェクトX2 横浜港博に向けた工事（ベイブリッジ幹線）で煩わしい夏、営業報告書を眺めていると一部市場で融点の低いP TMGのニーズがあることに注目した。理論的にはP TMG（融点23℃）の直鎖構造に側鎖（アルキル基等）を導入すれば融点降下が起きる筈と考えた。

調査の結果、原料THF製造過程でメチル基が入った副生物が数%含まれていることが分かり、これは焼却廃棄されていた。THFと共重合するのでこれを入手できればと考え、メーカーに当たったが大手原料メーカーからはそんな副生物はない、との答えであった。

会社上層部からは「世にない原料で事業化はできない、君は何を考えているのか」と大目玉を喰らった。でも諦めるわけにはいかない。偶然にも国内のメーカーから焼却廃棄するものが送られてきたが、目的物の純度は意外に高く、宝物を得た気分であった。合成してみると予測通りP TMGの融点は0℃以下に低下、早速、大手顧客にサンプルを提供した。

程なくしてこのものを供給して欲しいとの回答がきた。後に用途は光ファイバー被覆材で、初めて聞く分野、これに関して共同特許を出願することになった。この会社は国内、欧米大手電線メーカーと提携しており、ほぼ全世界を抑える特許になるのである。

低融点P TMGを供給できれば世界展開ができると思い胸が高なった。

しかし副原料の必要数量は年間数百トンになり、社内や他メーカーを当たった

ものの技術的に可能でもコストが合わない。すると米国大手会社から高性能弾性繊維に使用したい、副原料は供給するとの事業提携案がきた。

また幸運が来たのである。

低融点PTMGの供給予測数量は年間数千トン、事業提携の話は間もなく決着、光ファイバー被覆材用と合わせてビッグビジネスになるのである。社内での反対を押し切ってまで進めた結果である。今では高級ソフトストレッチ繊維の商業化を実現できたし、一方、世界の光通信網の普及を10年早めた、と自負している。PTMGの分子量分布改良法特許と低融点化新技術開発に関する特許で今も特許報奨金を支給されている。

これら二つの新材料の顧客開発は日本、欧米の大手企業であり、海外出張も多く（20ヶ国、57都市、延べ67回出張）、有名な技術者などと出会い、貴重な経験になったのである。

この時期日本経済はバブルがはじけて停滞していたが、NHK-TVで「プロジェクトX」という題名で開発・起業物語が放送されていた。番組のBGMは歌手：中島みゆきの「地上の星」である。♪♪ 風の中の昴 砂の中の銀河 みんなどこへ行った 見送られることもなく・・・地上の星を誰も見ていない～♪♪

TVの開発物語を見て、またこの歌を聴いて、どこか自分の経験と重なる思いであった。

新しい物（地上の星）の発掘には、失敗、疎外、軽蔑が付き物、信念を持って進めば新しい星は見出せる。

アップル社の故 Steve Jobs 氏は“Stay hungry! Stay foolish”という言葉を残している。私は“ばかの〇〇”と周囲から言われたが、今は Jobs 氏の“Stay foolish”で良かったと回顧するのである。以上皆さんの何かの参考になれば幸いです。

以上

本篇は会報 62 号でご紹介した埼玉支部 岡部憲昭氏の「新規ポリマー開発の経緯について」の後編に当たります。前編では、保土ヶ谷化学に入社された後、中央研究所に配属され、新規ポリオールの開発研究に携わっていたが、開発中止の方針に遭った。本社に研究継続を上申したところ、PTMG 関連工場の研究室で研究の継続が可能となった。工場長から自分の考えどおりに研究を進めて良いとの指示を受けた。…というお話でした。

（編集担当）

坊さんになりました

岩瀬幸男（昭52学機）

自己紹介

私は岩瀬幸男と申します。昭和52年3月に機械工学科を卒業しました。卒業研究は佐藤千之助教授の研究室にいました。佐藤教授には卒業研究、就職、卒業後もお世話になりました。私の人生の恩人の一人ですが令和4年にお亡くなりになりました。



卒業して出身地の銚子市にあるヤマサ醤油（株）に就職しました。醤油、調味料などを製造、販売している会社です。会社では生産設備の保全やボイラの運転管理の仕事をしていました。28年間勤め50歳の時に退職しました。前職の経験を生かして（社）日本ボイラ協会に転職しました。ボイラ、圧力容器の検査会社です。14年間勤め64歳の時に退職しました。42年間のサラリーマン生活はいい時も悪い時もありましたが、健康で仕事をして結婚し子供も授かり表面的には恵まれていたと思います。出世とお金には無縁のサラリーマン生活でしたが、仏縁をいただき58歳の時に得度して坊さんになりました。遇い難い仏縁に感謝しています。

坊さんになりました

村上志染という詩人に水馬（ミズスマシ）という詩があります。

方一尺の天地 水馬しきりに円を描ける
なんじいずこより来たり いずこへ旅せんとするや？
へイ！ 忙しおましてナ！

という詩です。

私たちは毎日忙しい忙しいと生活していますが、仏さまから見ればミズスマシがしきりに円を描くのと変わりません。一尺ほどの空間で走りまわっているようなものです。「何のために生きているのか」と誰でも疑問に思うことがあります。しかし簡単に答えの出る問題ではありません。そして面倒になって忙しくてそんなの考えている暇はないとなってしまいます。そして毎日が過ぎてゆきます。そんな人間の姿がにじみ出ている詩です。

50歳で転職するまでの28年間はミズスマシのような生活でした。時々生きることに疑問に思うこともありましたが、忙しいことを理由に自ら振り返ることを先送りしていました。心の中に満たされないものを感じていました。50歳の時に転職して収入は3割減りましたが仕事はそれ以上に減りました。心と時間に余裕ができて立ち止まって考えることができました。今から振り返ると転職は人

生列車の途中下車でした。途中下車すると見える景色も変わってきました。忙しい時は心を失っているのが聞こえないし見えないと思います。

心の中の満たされないものを言葉で説明するのは難しいのですが「生きる拠り所、死んで帰る所」といったようなものです。私にとっては大事な心の問題で、それを仏教に求めました。50歳から仏教を学び始め52歳から6年間通信教育で仏教、浄土真宗を学びました。菩提寺が浄土真宗でそのご縁です。自宅での学習が中心ですが、月に2回築地本願寺で開かれる学習会に参加しました。学習会の学びを通して多くの気づきがありました。通信教育を修了すると得度の資格が与えられます。11日間の泊まり込みの研修を受け、京都の西本願寺で剃髪し得度しました。58歳の時です。お釈迦さまの弟子にさせていただきました。

サラリーマンで坊さんになるのは、世間から見れば変人と思われるかもしれませんが私にとっては自然なことでした。仏教は人生の羅針盤です。仏教を拠り所にして生きていくということです。仏教は決して死後の教えではありません。苦しみ多い人生を安心して生き、この世のご縁が尽きたら安心して死んでいける教えです。安心して死んでいくことができれば、安心して生きていくことができます。人生はいろいろな人との出会いがありますが、自分自身と遇うことは難しいことです。仏教は自分自身と出遇っていく教えです。自覚の宗教と言われます。それは自分の愚かさに気づいていくこと、自分の本当の姿に気づいていくことです。お釈迦さまは「逃げた女ではなく、自分自身をさがせ」と教えています。

生活と人生

宗教は人間だけが持っているものです。動物にはありません。外国人から宗教を問われ「私は無宗教です」と答えると「あなたは動物だ」と言われる、と聞いたことがあります。人間から宗教を取ってしまったら動物になってしまうのではないのでしょうか。エコノミック・アニマルになってしまいます。

仏教は生・老・病・死を四苦と言います。四つの苦しみです。仏教では思い通りにならないことを苦と言います。生まれ、年をとり、病気になり、死んでゆくことは誰も思い通りになりません。この四苦を解決するためお釈迦さまはご出家されました。生きることだけが人生の目的ならば死によって悩むことは無用です。しかし死の悩みがなくなるとすれば、安心して死んでゆける道を見出すほかありません。仏教が現代まで2,500年間続いてきたのは、人間に必要とされ人間の苦しみを救ってきたからです。

日常生活に必要なのは衣食住とそれを支える仕事です。仏教がなくても日常生活には支障ありません。日常生活には無用です。しかし日常生活には無用でも人生の老・病・死に苦悩する私たちには必要ではないのでしょうか。仏教は生活には

無用でも、独り生まれ独り死んでゆく私の人生には必要ではないでしょうか。

おかげさま

現在は菩提寺で、仏さまにお仕えしています。時々法事や葬儀の手伝いをしています。現代人は目に見えるものしか信じないので「目に見えない仏さまなんていないんだ」と言われそうです。でもそんなこと言うのは「バチアタリ」ではないでしょうか。ご年配の方が「おかげさま」と言われることがあります。「おかげ」とは陰のことです。人間を超えた見えない力に感謝していることです。人間は欲が深くて罪深い動物です。それに伴って苦しみも深くなります。自分の本当の姿に気づいたら、人間を超えた仏さまは私にとってなくてはならない存在ではないでしょうか。

科学は進歩して生活は豊かになりましたが、人間の心が良くなったとは思えません。むしろ不徳が増えたのではないのでしょうか。洗面所の鏡には顔は写りますが心は写りません。仏の教えは私の心を写す鏡にたとえられます。心の垢をきれいにして下さいます。形のない心を自分できれいにすることはとても出来ないことです。生きていくためには体の栄養だけでなく、心の栄養も必要ではないでしょうか。仏教は心の栄養となり心を育て、心の苦しみの解決を教えています。

サラリーマン時代の思い出（総合商社に勤務して） その1

石橋 英男（昭38学化）

私は昭和16年3月30日（1941年3月30日）に茨城県常陸太田市瑞龍町で生まれました。瑞龍小学校、誉田中学校、太田一高、茨城大学と進み、昭和38年3月に茨城大学を卒業いたしました。

子供の頃は毎年日立（河原子）に海水浴に行き、海を眺めて海の向こうの外国に将来是非行ってみたいと思っていました。

さて、大学4年になり、就職活動を初めました。当時は東京オリンピックを翌年に控え好景気で、池田内閣の所得倍増の政策もあり給料の大幅なアップも期待でき、日本中明るい雰囲気にも包まれていました。

産業界は繊維を中心とする軽工業から重化学工業の時代へと変換を遂げつつありました。

ニチメンから白井さん（36年電気卒）が見えられ面談致しました。同氏よりニチメンは明治時代（1892）に綿花の輸入商社として設立され、その後総合商

社へと発展しており、現在でも繊維製品の扱いは総合商社で、トップクラスを占めていますが重化学分野では多少後れをとっている。そのためニチメンは東京支社を中心に重化学工業分野の増強を図っており、新入社員としてこの分野の商品知識のある人いわゆるセールスエンジニアを多数採用することを考えている。うまくいけば海外駐在も可能だし、夜は接待が多いから酒も飲めるとの話がありました。子供の頃より海外に行く夢を持っていたので入社することに決めました。

ニチメンに入社したことにより、3カ国（ユーゴスラビア、韓国、イラク）に駐在、仕事、旅行を含めると40カ国以上の国に行くことが出来ました。

この経験は私だけでなく同行した家族にも大きな影響を与えたと思います。

入社してみると大卒の男子新入社員は全社で110名ほどでしたが、その中三分の一は理科系出身でした。茨大工学部から私の他に遠藤さん（電気）が入社されました。（同氏は2～3年後に日産自動車に転社されました。）

勤務先は東京支社となりました。場所は日本橋近三ビルで、私はニチメン柏寮（流山市松ヶ丘）に入居したので南柏駅より常磐線經由山手線神田駅で乗り降りしましたが、ビルの前には都電が走っておりニチメン前と言う駅がありました。3年後には宝町に自社ビルが完成したので、その後は東京駅の乗り降りになりました。

サラリーマン時代の思い出を①国内勤務及び組合役員時代②ユーゴスラビア駐在時代③韓国駐在時代④イラク駐在時代に分けて述べたいと思います。

1. 国内勤務と組合役員時代

入社後、東京支社機械本部の配属となり、見習いとして2年間機械経験を体験いたしました。その後、機械2部、プラント課に配属され、プラントの輸出を担当することになりました。

最初は先輩のアシスタントとして韓国向けPVCプラントを担当いたしました。契約金額は約10億円、5年の延べ払いと記憶しております。ソフトはチッソ、ハードは日立造船でした。最初に分厚い（20ページ程）本件の英語の契約書を渡され勉強するように言われ、内容を理解するまでに苦労しました。

続いて、沖縄の石垣島に大日本精糖が建設した砂糖工場（砂糖はニチメン食品部砂糖課が輸入した）の消耗部品の輸出を担当しました。メーカーは月島機械でした。当時沖縄はアメリカの統治国となっており、通常の輸出手続きが必要で、私としては初めて契約から船積みまで貿易実務を経験しました。

1971年(30歳)の時、ソ連(現在ロシア)のモスクーでニチメンの単独見本市が開催されました。私は鉱山用機械の3メーカーの担当をすることになりました。私の海外出張は入社後最初でモスクーに1ヶ月滞在いたしました。

ソ連は共産党の独裁政権で商品の売り込みのため直接ユーザーとの面談は難しく、商品をユーザーに紹介するために見本市は重要な手段でした。

会場は関係者以外に海外の情報が不足している一般市民も沢山訪れ、カタログを求めて長い列が出来ました。

これがきっかけで、私はソ連商いを担当することになり、その後何度かモスクーに出張しました。そこで気がついたことは良品の物資が不足しているソ連では人の列ができると何か良いものが見つかるのではないかと想像して更に長い列が出来るのが常でした。特に輸入品は一般の店ではほとんど手に入らず、売っているのはソ連人が入れないドルショップ(外貨専門店)なので、私も親しいソ連人より、外国品を買ってプレゼントするよう度々依頼を受けました。

また、共産圏では競争意識が薄いため何事も早く済ませようとせず、特にレストランでは席が空いているのに従業員がテーブルの片付けを急がず、整うまで客が長時間待たされるのが常で、特に冬零下20度の屋外で客が長時間待っている風景もよく見ました。私たちは外貨払いなのでそんなに待つことはなくすぐに入れましたが、ソ連人がこの光景を見て外国人に対し、どんなことを想っているか、ちょっと気になりました。

日ソ経済協力によるシベリヤ開発のプロジェクトがありました。

当時日本の経済界、製鉄業界が最も興味を持っているのはシベリヤの石炭開発であり中でも良質のコークス炭の輸入でした。したがってこのプロジェクトは製鉄業界が中心となりました。ニチメンの石炭部はソ連炭の扱いが多いこともあり、このプロジェクトの幹事会社の一つとなりました。

機械部としてはこの関係を生かし、洗炭プラントの売り込みをはかるべく、神戸製鋼に取りまとめをお願いしプラントの一括納入をはかるべく、神戸製鋼を中心として関係メーカー及びわが社の担当役員からなる10名のミッションをソ連に派遣いたしました。私はこの世話役を担当致しました。最終的にはソ連側の意向でプラントは一括納入でなく単体機械のバラ買いの方針となり、弊社は栗田工業の排泄処理設備数億円を受注しました。

34歳(1975年)の時ポーランドに出張いたしました。

ポーランドは良質の石炭(コークス炭)を産出するため、日本の製鉄業界は輸入に興味を持っておりましたが、輸出の船積設備が貧弱なため割高となってい

ました。ニチメンはこの船積設備（シップローダー）を日本からの借款で売り込みに成功しました。契約金額は10億円、メーカーは小松製作所でした。

稼働開始後は半年ぐらいでシップローダーのシャフトが破損しました。保証期間内なので対策検討のため小松よりエンジニアを派遣することになり、契約上の問題もあるので私が同行することになりました。

設置場所はグダニスクというバルト海に面するポーランドの最大の港でした。交渉の結果無償でシャフトを溶接することで話が付きました。

ポーランド出張は初めてでしたが、ポーランド人はソ連と同じスラブ民族ですがソ連人より色が白く女性は美人が多く感じられました。グダニスクはポーランド社会主義が崩壊するとき、ワレサ（社会主義崩壊後初代大統領）が中心となり港の労働者が立ち上がった場所で、現在も我々が納入したシップローダーが稼働していると思うと感慨深いものがあります。

1976年南北の統一を成し遂げたベトナムに日本の経済界は戦後の復興需要を見込んで熱い視線を向けました。我々はベトナムからの輸出品としては石炭（ホンゲイ炭）が有名であり、これの積み出し設備（シップローダー）の売り込みが有望と判断しました。ベトナムとポーランドは同じ社会主義国として友好関係にある。前回シップローダーを納入したポーランドの客先より紹介状を貰い、ベトナムの客先とコンタクトし、シップローダーの技術打ち合わせをしたい旨申出て、ベトナムの客先より招聘状を入手いたしました。

今回は小松製作所に代わりシップローダーの納入実績の多いIHIを推薦し、IHIの技術者と共にベトナムのハノイに出張いたしました。

統一後のビジネスミッションとしてはベトナムに入ったのは日本で一番早かったと自負しております。このこともありニチメンはベトナム商いではいろいろの分野で日本各社より注目されました。

当時は日本から飛行機が高度を下げると真下に赤い川（ボン川？）が見えました。税関の検査も割合簡単で、客先よりの迎の車で湖上のタイロイホテルに着きました。ロビーには竹などあり日本的な雰囲気もありました。

ハノイには戦争の傷跡はなく、香辛料の臭いが強い市場には強い野菜などが豊富でした。ホテルの食事に食用ガエル等出たのには驚きました。

（次号に続く）

日本の絵師達の歩み（その6）明治時代以降

佐藤隆義（昭40学化）

前々回から明治時代以降の絵師達について紹介してきましたが、今回はその3回目として昭和時代に活躍した絵師達について紹介します。

明治時代以降に活躍した絵師は非常に多いので、今回は、その中から2人の絵師達（奥村土牛、平山郁夫）について紹介します。

1. 奥村土牛（おくむら・とぎゅう）（1889～1990年）

奥村土牛は東京に生まれ、1905年に絵師の小林古径に実技の指導を受けました。

1947年に帝国芸術院会員、59年に院展に代表作（鳴門）を出品しました。

62年に文化功労者になり、文化勲章を受章しました。

古径や御舟から画業を受け継ぎ、日本画の発展に大きく寄与しました。

フランス人のセザンヌに傾倒し、その本質を自身のものとししました。

78年より第二代日本美術院理事長となり、その重責を果たしました。

たゆまぬ写生に基づく深い自然観察は、人物画、風景画、動物画など、多彩な分野の中で、いずれも現代日本画が到達出来る最高の水準を示しました。

下記の絵は、奥村土牛の代表作品の一つの醍醐寺です。



秋の醍醐寺の紅葉が真っ盛りの時の風景を描いたものです。まるで写真ではないかと思われるような極めて精密な絵だと思います。

2. 平山郁夫（ひらやま・いくお）（1930～2009年）

平山郁夫は広島県に生まれ、広島市への原爆投下で被爆しています。

平山は、1949年に東京美術学校（現在の東京芸大）を卒業後、絵師の前田青頓に師事し、主に院展を舞台に活動しました。

教育者としても、日本美術院理事長、東京芸大学長などを務め、文化勲章を受章しています。

被爆体験がきっかけとなり、「平和を祈る心」を仏教伝来の道であるシルクロードに重ね合わせ、1968年以降から毎年現地に出かけ、「シルクロードシリーズ」を描くようになりました。

平山郁夫のシルクロードの絵は数多くありますが、そのうちの代表的な絵を下記に示します。



シルクロードは、ほとんど雨が降りませんので、植物などは見当たりません。ラクダだからこそ、シルクロードを横断出来るのでしょうか。

平山は、なぜシルクロードに毎年通って絵を描いていたのでしょうか？シルクロードが、平山を呼んでいたのかもしれないね。

囲碁会の活動報告と今後の予定

囲碁会・会長 佐藤隆義（昭40学化）

囲碁会は、千葉県支部をはじめ、東京支部、埼玉支部及び会友（佐原高校出身者）の方々が会員になっており、年に4回船橋市中央公民館で懇親囲碁大会を開催しています。

令和6年1月及び4月は、船橋中央公民館での抽選申し込みが全て外れましたが、幸い、7月、10月及び今年1月は抽選で予約が取れましたので、予定通り囲碁大会を開催することが出来ました。

囲碁大会の結果は、下記の通りです。

年 月	成績優秀者	卒 年	支部名	回 数 参加者
2024年 7月23日	優勝 上田正雄・四段 2勝賞 小室哲夫・六段 藤沼隆夫・六段 金子元信・初段	36年電気 36年金属 43年機械	埼玉 千葉 東京 会友	第92回 7名
2024年 10月22日	優勝 遠藤芳勝・五段 2勝賞 上田正雄・四段 藤沼隆夫・六段 白石道彦・二段	37年電気 36年電気 43年機械 38年化学	千葉 埼玉 東京 埼玉	第93回 9名
2025年 1月21日	優勝 遠藤芳勝・五段 2勝賞 須田照男・六段 金子元信・初段	37年電気 34電気年	千葉 千葉 会友	第94回 8名

千葉県支部の遠藤五段が、昨年10月及び今年1月の囲碁大会で頑張って優勝してくれましたので、何とか千葉県支部のメンツを保つことが出来ました。

囲碁は、老若男女を問わずお互いに囲碁を楽しむことが出来る数少ないゲームの一つです。

囲碁がもっと広く普及すれば、囲碁を通じて男女お互いにもっと親しくなることが出来ると思うのですが。

ゴルフ会の活動報告

ゴルフ会・会長 細井常雄（昭48 学金）

部会員の減少に伴い千葉県支部のみの定例会は休止中で、主な行事は年4回(3月、6月、9月、11月)東京、埼玉、千葉県支部の合同にて3支部合同コンペを開催しております。昨年は異常気象の影響で6月中旬から9月中旬まで猛暑が続き、年配者の体への負担を考慮し6月は中止として、年3回実施しております。

今後の課題として参加者の高齢化に伴い参加人数が減少傾向にあります。若手会員の参加を歓迎しております。



三支部合同ゴルフコンペ 取手桜ヶ丘 GC 2024.12.06

開催日時	ゴルフ場	担当支部	参加人数	優勝者	2位	3位
3月29日	坂東GC	埼玉	13名	小澤喜宏 (東京)	富田瑞穂 (東京)	大武康男 (埼玉)
9月24日	紫CC	東京	9名	青野 潔 (東京)	小澤喜宏 (東京)	細井常雄 (千葉県)
12月6日	取手桜ヶ丘	千葉県	13名	小澤喜宏 (東京)	青野 潔 (東京)	鈴木幹夫 (東京)

令和6年度会費納入者

卒年学科	氏名	卒年学科	氏名	卒年学科	氏名
昭24専船	草刈 董	昭39学電	高崎芳紘	昭50学機	吉野久男
昭30学機	檜山邦良	昭40学化	佐藤隆義	昭50学機	大貫俊夫
昭30学機	高岡 厚	昭40学精	千代和彦	昭52院機	吉野 仁
昭32学金	穂坂邦光	昭41学機	萩野谷道雄	昭52学機	岩瀬幸男
昭34学電	高橋孝雄	昭41学機	高橋邦彦	昭52学金	倉川久男
昭34学電	須田照男	昭41学電	木村 保	昭53学電	松崎健二
昭35学機	原田武保	昭41学精	仲田光雄	昭53学精	八木純明
昭35学金	舟橋 勲	昭42学金	小菌井健	昭54院機	菅谷好美
昭36学電	高橋保雄	昭43学電	岡田猛彦	昭54学精	坂田昭夫
昭36学金	小室哲夫	昭43学電	橋本弘道	昭55院機	曾根 勉
昭36学金	関谷 廣	昭43学精	三好一範	昭55院電	丸島國義
昭36短機	栗田 俊	昭44学電	梅田毅明	昭55院電	弓削直樹
昭37学電	遠藤芳勝	昭44学電	香取元丈	昭56学電	中村祥孝
昭37学電	佐藤哲雄	昭46学機	笹倉隆親	昭56学精	渡邊裕一
昭37学化	富田宣吉	昭46学電	兼卷良勝	昭56学情	平野茂木
昭38学機	加瀬勝弘	昭47学電	金坂 潤	昭57学電	伊藤博之
昭38学機	駒場方耀	昭48学金	細井常雄	昭57学情	岡田庸子
昭38学機	高見忠彦	昭48学金	白川道子	昭59学情	狩野 宏
昭38学電	綿引貞男	昭48院化	沼倉研史	昭63学機	佐藤敏哉
昭38学化	石橋英男	昭49院機	北村悦夫	平3 短機	井坂政美
昭38学精	市村敬司	昭49院化	松本 茂	平5 学建	山本敏弘
昭38学精	矢嶋國男	昭49学金	宮内賢一		

会費を納入していただき感謝いたします。(千葉県支部長)

合計 65名

令和6年度 寄付金協力者

卒年学科	氏名	卒年学科	氏名
昭37学化	富田宣吉	昭46学電	兼卷良勝
昭39学電	高崎芳紘	昭52学金	倉川久男

寄付金額合計：73,000円

寄付金を納入していただき感謝いたします。(千葉県支部長)

多賀工業会千葉県支部役員・役割一覧表

令和7年3月1日現在

氏名	卒年学科	役割
富田 宣吉	昭37 学化	支部長
高崎 芳紘	昭39 学電	幹事長
佐藤 隆義	昭40 学化	副支部長兼囲碁会会長
坂田 昭夫	昭54 学精	副支部長
金坂 潤	昭47 学電	幹事 名簿・広報
細井 常雄	昭48 学金	幹事 ゴルフ会会長
菅谷 好美	昭54 院機	幹事 会計
狩野 宏	昭59 学情	幹事 広報
倉川 久男	昭52 学金	幹事
高橋 孝雄	昭34 学電	監事
綿引 貞男	昭38 学電	監事
檜山 邦良	昭30 学機	顧問
穂坂 邦光	昭32 学金	顧問
萩野谷 道雄	昭41 学機	顧問

多賀工業会千葉県支部：富田 宣吉方（個人情報保護のため一部削除させていただきました。）

多賀工業会千葉県支部のホームページ URL：<http://chiba.tagakgk.com/>

訃報

昭29 学原 北村 健 令和5年4月5日逝去
 昭58 学機 西 健信 令和5年9月16日逝去
 昭62 学精 関 英生 令和6年1月逝去
 昭31 学金 田中 宏 令和6年9月（訃報）
 昭40 学精 千代 和彦 令和6年9月逝去
 昭23 専機 尾張 文之助 平成24年11月逝去

謹んでご冥福をお祈りいたします。

表紙写真：『御宿海岸の砂丘（月の沙漠）』（スマホ撮影 坂田 昭夫）
 九十九里の御宿海岸砂丘にある「月の沙漠」公園です。
 詩人加藤まさをが、保養のため訪れた御宿海岸の風景から発想した童謡は有名です。
 海岸の砂がみずみずしいので、「砂漠」ではなく「沙漠」としたそうです。
 昔、犬と一緒に歩いた砂丘を、今回は、夫婦ふたりで歩いてみました。

発行日 令和7年4月16日